

1. 学生とともに進めるまちづくり

北24条商店街と学生との連携によるまちづくり

北区市民部総務企画課



北24条商店街の「サンQ青果」（中央市場）をリサーチする武蔵女子短期大学の学生の皆さん

【商店街に学生のパワー】

これからのまちづくりは、地域にある資源を「再発見」して、それを活用していく「内発的な発展」が必要です。北区には、市内でも有数の大学が立地し、若い力をまちづくりに生かしていく恰好の条件が揃っています。

また、地域のまちづくりの主役の一つが商店街です。特に、北24条商店街のエリアは、交通の拠点にあり、多種多様な店舗が軒を並べています。地元町内会などと構成する「スローライフ・イン・にーよん」の主要メンバーでもあり、これまで、地域の花植え、夏祭り、アイスクャンドルナイト、音楽祭など様々な事業を展開しています。

本項では、学生との連携による新しい取り組みを二つ紹介します。

【商店街フレッシュ事業】

まず、一つ目は、地元の武蔵女子短期大学と連携することによって、魅力あるまちづくりの推進と地域経済の活性化をはかる「北24条商店街フレッシュ事業」であり、平成26年の夏から秋にかけて実施されました。

同大学は、子ども図書館の開放や町内会のお祭りでの地域交流などを図ってきましたが、多くの学生は、通学で北24条駅を利用するにもかかわらず、商店街との関わりはあまり深くありませんでした。大学としても実際の経済活動を体験する場を求めており、北区役所も中に入って、商店街魅力プロジェクトとして本事業が実現しました。

参加したのは、教養学科ビジネス教養課程の高橋専門ゼミナールの2年生18人。彼女たちは、まず、

商店街をまち歩きをした上で、3人一チームで6店舗に入ってヒアリングなどをして、以下のような魅力アップの提案を行いました。

- ・ **ペットショップ小泉** 動物写真を店内外に目立たせる
(ポスター製作)
- ・ **文具のみつはし** 学祭キャンペーン、新ポイントカード
- ・ **レストラン「アヴァンクール」**
学内ロッカーにPRチラシ
お得な学生メニュー (スイーツセット)
- ・ **サンQ青果** 街頭アンケート (店選びのポイントなど)
レシピの配布や掲示
- ・ **日の出水産** 街頭アンケート (店選び、利用頻度など)
魚のさばき方講座
- ・ **東京堂書店** 武蔵生セレクトフェア
ウエルカムボード

普段なかなか得られない女子学生からの新たな視点による様々なアイデアが出され、一部はすでに実現され、好評を得たようです。このような取り組みによって、個々の商店及び商店街全体の魅力アップが図られ、来客数や売上増加につながっていくとともに、地元の人々が、商店街により愛着を持ってもらい、ひいては地域活性化にもつながっていくことが期待されています。

【商店街の国際化】

もう一つは、北区ならではのユニークな商店街の国際化に向けた取り組みです。

北区は、外国人が全市の中で一番多く、このうち北大の留学生が約1,100人居住していると思われていますが、これまで、あまり北24条商店街に足を運ぶ姿は見られませんでした。この中であって、市の「商店街みらい会議」において、国際化のアイデアが出され、「札幌で一番外国人が買い物しやすい商店街」を目指す取り組みが始まりました。

そのキックオフイベントが、平成26年11月1日に開催された「に～よんインターナショナルカフェ」です。商店主のほか、地域住民や行政、北大の留学生の窓口である国際支援課及び北大留学生協議会の会長も参加して立ち上げた実行委員会の主催です。



曲「Happy」に合わせて留学生らが椅子取りゲーム

札幌サンプラザの会場には、外国人住民や地域住民など約230名が参加。マレーシア、アゼルバイジャンやウイグルなど8つの国と地域からの留学生がお国の食べ物などを振る舞ったほか、文化の紹介や踊りが披露されました。また、店主らが米国歌手の曲「Happy」に合わせて踊ったPR動画をバックにした、椅子取りゲームなども実施され、多言語が飛び交う国際色豊かな会場で、参加者同士が交流を深めていました。



インドの文化と食べ物を留学生が紹介

さらに、商店街の若手で組織されるfrom24によって、平成27年1月25日には、に～よん国際餅つき大会が約50人の留学生が参加して幌北寺で開催されています。

北24条商店街では、今後も、定期的に留学生などを招いたカフェイベントを開催するなど様々な取り組みを行っていく予定です。

○お問い合わせ

北区市民部総務企画課

TEL.011-757-2403